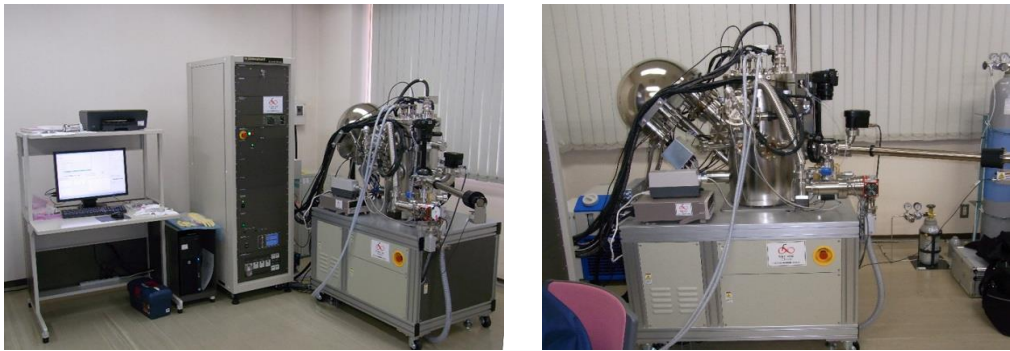


事業者名	滋賀県								
機器名	X線光電子分光分析装置								
写真									
特徴・用途	物質の最表面(～数nm)における元素成分や化学状態の分析								
設置場所	滋賀県工業技術総合センター								
利用状況	年月	稼働日数 (日)	依頼試験・ 依頼分析 (件)	技術指導 (件)	試験設備貸出・利用		受託研究・ 共同研究 (件)	その他 (件)	利用件数 計(件)
					件数(件)	時間(時間)			
	平成27年3月	6	0	15	6	37	0	1	22
	平成27年4月	13	0	19	12	83	0	1	32
	平成27年5月	18	0	18	16	111	0	2	36
	平成27年6月	17	0	23	17	126	0	0	40
	平成27年7月	14	0	19	14	91	0	0	33
	平成27年8月	12	0	13	10	51	0	2	25
	平成27年9月	11	0	15	11	75	0	0	26
	平成27年10月	11	0	15	8	49	0	5	28
	平成27年11月	6	0	8	4	20	0	2	14
	平成27年12月	4	0	7	4	27	0	0	11
	平成28年1月	6	0	9	6	36	0	0	15
	平成28年2月	10	0	13	8	58	0	2	23
平成28年3月	14	0	21	14	108	0	0	35	
利用者等の声	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの装置よりも試料セッティングに必要な時間が短くなり、測定操作も慣れれば比較的容易に行えるので、作業効率が上がった。 ・測定箇所を微小領域で高精度に決められるので、これまで出来ていなかった測定が可能になった。 ・表面からの深さ方向分析が再現性よく出来るようになった。 ・イメージングを利用することで視覚的に測定結果を認識しやすくなった。 								
補助事業概要 の広報資料	http://ringring-keirin.jp/shinsei/document/list/kikai/h26/pdf/26-040koho.pdf								